

今回のお話は
大阪府

「一寸法師」誕生の地は大阪府とされています。おじいさんとおばあさんがお参りした住吉大社にはそのことを示す看板があります。また、一寸法師は道頓堀川を出発して京都に向かったとも言われています。

日本の昔ばなしシリーズ

一寸法師の湯

いっすんぼうし

ミントの香りのお風呂

一寸法師

昔々、あるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました。二人には子どもがいなかったのです。住吉の神さまにお願いしたところ、親指くらいの大きさの小さな男の子が生まれました。二人はその子に一寸法師という名前をつけて大切に育てました。

やがて、一寸法師は武士になるために京へ行くことを決めました。針を刀の代わりに持って、おわんを船にすると、おはしで船をこぎ、旅に出ました。京に着くと一番立派な家を見つけ、そこで働かせてもらうことにしました。

ある日、その家のお姫さまとお寺参りをしている時、鬼がお姫さまをさらいにやって来ました。一寸法師は、お姫さまを守ろうとするも、鬼に飲み込まれてしまいました。そこで持っていた針で鬼のおなかの中を刺してまわると、鬼は降参し、一寸法師を吐き出して山へ逃げて行きました。



お姫さま

鬼が落として行った打ち出の小づちをお姫さまに振ってもらおうと、一寸法師は身長がグングン伸び、誰にも負けない立派な男の人になりました。その後お姫さまと結婚し、出世して幸せに暮らしましたとさ。めでたしめでたし。



生姜エキス
甜茶エキス
紫蘇エキス
(各うるおい成分)配合

